

## 処理場の汚泥サンプリング試験（その２）

2005年07月02日開始

### （１）作業目的、施工場所

処理場における汚泥をサンプリングし、汚泥量の低減を目的とした試験を行う。

### （２）使用量

施工条件に最も適した液状タイプのバイオリキッドと固型タイプのバイオコロニーを併用投入する。試験容器容量は、 $0.005\text{m}^3$ (5.0L)であるため、バイオリキッド(10ミリリットル)、バイオコロニー(50グラム)を併用投入する。

### （３）調査

汚泥量については、目視にて測定した。別添の写真のとおり、20日目には3～4割汚泥が減少した。



バイオコロニー投入5日目 (0707)



未投入5日目 (0707)



未投入20日目 (0722)



未投入20日目 (0722)